

## 第63回試験研究成果発表会\_花植木 発表概要

【動画配信期間】 令和8年3月27日（金）～令和9年1月5日（火）

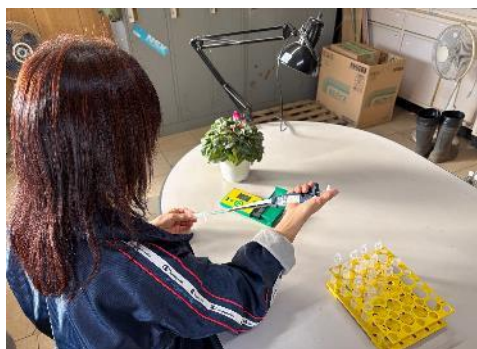
【場 所】 YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」

### 発表1 成果発表

#### 栄養診断と緩効性肥料を併用したシクラメンの施肥管理方法

花植木研究室 中島 拓

シクラメンの開花遅延対策や草姿改善技術として、植物体や培養土中の硝酸態窒素濃度に基づいて肥培管理を行う、栄養診断法が普及してきています。一方で、栄養診断に基づく肥培管理は液肥により調整することを前提としていますが、県内の生産現場では、緩効性肥料と液肥併用した肥培管理が一般的です。そこで、栄養診断法と緩効性肥料を併用した肥培管理に適した施肥方法についてご紹介します。



栄養診断の様



栄養診断+  
緩効性肥料

慣行

栄養診断と緩効性肥料を併用して  
栽培したシクラメン

## 発表2 成果発表

### シクラメン栽培に適した低コストの焼却可能な培養土

花植木研究室 中島 拓

慣行培養土に使われる赤土などの鉱物を回収できない自治体が多く、培養土の廃棄が困難な点が、鉢物の購入を敬遠する要因の一つとなっています。そこで、木質資材等を活用した焼却可能な培養土（通称、燃やせる土）を開発してきましたが、慣行土に比べややコストが高くなるという問題点がありました。そこで、これまでの燃やせる土と同等の性能をもちつつ低コスト化が図れる焼却可能な培養土を開発しましたので紹介いたします。



低コスト資材を配合した燃やせる土で栽培したシクラメン



低コスト資材であるバーク堆

## 発表3 成果発表

### カーネーション栽培施設における光反射交織ネットを活用したアザミウマ類による被害軽減効果

生産環境研究室 角田 ひかり

カーネーションは、栽培ではアザミウマ類の防除のために、高頻度に薬剤が散布されていますが、作業者の負担が大きい上に、薬剤感受性低下の恐れがあります。薬剤散布に頼らない防除体系として、アザミウマ類の侵入抑制効果を狙った光反射交織ネットをハウスサイド開口部に設置し、薬剤散布と併用した場合のアザミウマ被害の軽減効果について、紹介します。



光反射交織ネットを張ったパイプハウ



花卉に発生したアザミウマ類の加害痕